

# MRI 検査をお受けになる方へ

- MRI（磁気共鳴画像診断）検査とは、X線を用いずに磁石や電磁波を利用して体内の様子を画像化するもので、解剖学的、質的診断にきわめて有効な検査です。
- 磁場の発生した筒型の装置の中で安静にさせていただいている間に画像を撮影していきます。検査中は「コンコン…」という大きな音がしますが、画像を得るための傾斜磁場によるもので、ご心配いりません。
- 検査時間は、30～40分ですが造影の有無、検査部位によって多少異なります。途中で動いてしまうと良い画像がとれません。風邪などで咳きができる場合や腰の痛みなどで長時間横になれない場合は、お申し出下さい。
- 検査中は、モニターによる監視や通話を行っています。安心して検査をお受けください。
- 腹部検査（肝臓・膵臓・胆嚢）の方は、検査時刻4時間前から食事を摂らないでください。お水・お茶は、特に制限はありません。

## 「検査をお受けになるときの注意点」

★ 安全に検査を受けていただくために、以下の項目を必ずご確認ください。

□ 《検査を受けることができない方》

- ・心臓ペースメーカー・植込み除細動器・人工内耳・イレウスチューブ
- ・マグネット固定式の義歯やインプラント・眼球インプラント
- ・移植蝸牛刺激装置・神経刺激装置・骨成長刺激装置
- ・その他、生命を維持する機械の埋めこみ

□ 《検査を受ける際、必ず確認が必要なもの》

- ・脳動脈クリップ(非磁性体)・人工心臓弁(非磁性体)
- ・心臓、血管、消化管などのステント(術後3ヶ月以上)
- ・刺青(タトゥー含む)のある方(カラーはにじみ、発熱のおそれ)
- ・その他、体内金属類(人工関節・内視鏡クリップ・義眼・義肢など)
- ・現在、妊娠している
- ・ニトロダーム(ニトログリセリン真皮浸透絆創膏)・ニコチンパッチ
- ・金糸美容術後
- ・閉所恐怖症がある方。
- ・長時間の安静に耐えられない方。

□ 《発熱・金属アーチファクトの可能性があり、取り外していただくもの》

- ・金属アクセサリ(時計・めがね・ネックレス・ピアス・指輪など)
- ・体に貼ってあるもの(湿布・エレキバン・カイロ・貼り付け式の針灸針など)
- ・衣類(金属性のホック・ファスナーのついた衣類・保温性・遠赤外線効果のある下着など)
- ・メイク用品(つけまつげ・アイライン・ウイッグ・エクステ・カラーコンタクトなど)
- ・その他(補聴器・入れ歯・ヘアピン・心電図電極・電子機器・磁気カード類など)

○その他、ご不明な点がございましたらスタッフまでお尋ねください。